睡眠時無呼吸症候群の健診を始めました。

こんなことはありませんか？

いびきが
うるさい

呼吸が
止まっている？

昼間に
眠気がある

ご自宅で簡単に検査が実施できます。

ご希望の方は健診センターまでお問い合わせください。

公立甲賀病院健診センター直通電話 0748-65-1612

睡眠時無呼吸症候群って知っていますか？

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは、睡眠中に呼吸が止まる病気です。

10 秒以上空気の流れが止まった状態を無呼吸といいます。無呼吸が一晩に 30 回以上、もしくは 1 時間当たり 5 回以上あれば睡眠時無呼吸といいます。

日本国内の睡眠時無呼吸症候群（SAS）の潜在患者数の報告は少なく、詳細は明らかになっていませんが、治療が必要な重症度の方に限定しても 300 万人以上と推計されています。

こんな症状はありませんか？

寝ているとき ： いびきをかく・呼吸が止まる・呼吸が乱れる・むせる・寝汗
何度も目が覚める（トイレに起きる）

起きたとき： 口が渇いている・頭痛、ズキズキする・熟睡感がない
すっきり起きられない・体が重いと感じる

起きているとき： 強い眠気がある・だるさ、倦怠感・いつも疲労感がある

こんな人があぶない！

〇たばこがやめられない　〇お酒が好きで、寝る前のお酒は習慣化
〇太り気味　〇暴飲暴食をしてしまう　〇高血圧、糖尿病、高脂血症などの既往がある
〇首が短い　〇首が太い、周りに脂肪がついている　〇下あごが小さい　〇小顔
〇歯並びが悪い　〇舌や舌の付け根が大きい

性別や年齢との関係は？

男性は 30～60 歳の働き盛り、女性は閉経後に多いと言われています。